

日本小児感染症学会若手会員研修会第7回浜名湖セミナー

若手夏季セミナー in 浜名湖を振り返って

森内浩幸*

今年の若手夏季セミナーは、9月24、25日の2日間、静岡県浜松市呉松町の「浜名湖かんざんじ荘」にて行われました。幹事の田中先生が、満を持して開催してくれただけのことがありました。浜名湖の全景を望む小高い山の中腹という、まことに素晴らしいロケーションでした。1日目はあいにくの雨でしたが、2日目の朝からは好天となり、素晴らしい浜名湖を、そして遠くの富士山を満喫できました。田中先生の職場関係の方々の温かいおもてなしのお蔭もあって、本当に充実した2日間でした。この紙面をお借りして、改めてお礼申しあげます。

昨年の瀬戸内セミナーから、過去の参加者のなかから選ばれたジュニアチューターが各グループに張りつき、積極的な指導をしてくれました。参加者は年齢の近いジュニアチューターから熱い刺激を受け、ジュニアチューターは教えることで気づいたこと、勉強になったこともあったことで

しょう。さらに今回は、1日目の夜に“エキスパートと語る”の時間が設けられ、指導医の方々が「感染症としての専門を目指したきっかけ」、「専門性を磨くのに役立ったこと」、「これからなし遂げたいこと」、「若手へのメッセージ」などを熱く語ってくれました。私も、理事長として参加するのは最後のセミナーになりますので、若い方々にエールを送らせていただきました。2日目のグループワーク発表では、グループ内での連携もよくなり、発表も優れたものが多くて甲乙つけがたく、審査員としても苦労しましたが、賞のネーミングは楽しくやらせていただきました。

最後に特筆すべきは、帰りに皆で浜松駅の近くで食べた鰻です。人生で最高の鰻でした。参加の皆さんにもよい思い出になったと思います。田中先生、ありがとうございました。来年は札幌を予定しております。皆様、お問い合わせのうえ、お出でください。

* * *

* 日本小児感染症学会研究教育委員会委員長